



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ナカノフドー建設
代 表 者 名 取締役社長 浅井 晶
(コード番号 1827 東証 1 部)
問 合 せ 先 経営企画部長 伴 雅裕

「中期経営計画」策定のお知らせ

当社は、この度、平成 26 年 3 月期から平成 28 年 3 月期の 3 ヶ年を計画期間とする「中期経営計画」を策定致しましたので、お知らせ致します。

当社グループは、平成 25 年 3 月期を最終年度とする前「中期経営計画」に基づき、安定収益基盤の確立、財務体質健全化、安定配当の実現等に取り組んでまいりました。その結果、海外建設事業は、日系企業の海外進出需要に的確に対応して、計画を大幅に上回る業績を残すことが出来ましたが、国内建設事業は、東日本大震災後の労務費や資機材の高騰の影響等もあり、計画を下回る結果となりました。

足許の経済環境は、デフレ脱却政策により、やや明るさを取り戻しつつありますが、厳しい財政事情や慢性的な労務不足等、建設業界を取り巻く構造的な問題に変わり無く、今後も大幅な市場の伸びは期待出来ないと予想されます。

このような状況の中、本年 2 月に創業 80 周年を迎えた当社グループは、国内・海外の収益基盤を磐石にし、創業 100 年に向けて強靱な企業体質を構築することを骨子とする「中期経営計画」を策定致しました。

記

1. 基本方針

『 変化する市場環境に創意を以って即応、
国内・海外の収益基盤を磐石にし、
創業 100 年に向けて強靱な企業体質を構築する 』

2. 経営目標(平成 28/3 期数値目標)

- (1) 建設事業売上高合計 1,200 億円以上
- (2) 連結営業利益 22 億円以上
- (3) 連結自己資本 120 億円以上
- (4) 株主配当 6 円 (3 円増配)

3. 主要施策

(1) 国内建設事業の受注力、施工力、現場力の強化

国内建設事業は、ソリューション営業を追求して、プラスαの営業で受注確度と利益率を向上させると共に、恒常的な労務不足に対応する為、積極的に工業化・省力化に取り組み、創意工夫により完工利益率を改善させて参ります。又、新設した技術教育部を中心に、実践的な作業所教育に取り組み、現場力を強化して参ります。

(2) 海外建設事業の基盤強化

売上高が急拡大した海外建設事業は、更なる収益力の向上が課題であり、工事・設備・設計等を強化して、売上高 500 億円規模を堅持する施工管理体制を整え、収益の一層の向上を図って参ります。又、日系企業の海外設備投資に加え、今後、各国の経済発展により広がる様々な用途や、顧客層の拡大にも対応して参ります。

(3) 人事制度の見直しと「多能社員」育成

社員の高齢化や、女性の社会進出等を踏まえて人事制度を見直し、より働き甲斐の有る職場作りに取り組んで参ります。又、「多能社員」育成の一環として、計画的に海外派遣を実施し、国内でも海外でも施工が出来る人材を育て、国内外の受注状況に応じたフレキシブルな要員配置を可能にします。

(4) 財務体質強化と安定配当

財務面については、保有不動産の修繕投資等が必要になりますが、期間利益等により、有利子負債を 90 億円以下にし、財務体質を強化します。又、内部留保を積上げて、自己資本を 120 億円以上に増強。1 株当り配当は、現在の 3 円から早期に 6 円に回復させ、以後の安定配当に努めます。

4. 業績目標（平成 28 年 3 月期）

（億円）

	連結業績
連結受注高	1, 200
連結売上高	1, 200
連結営業利益	22
連結自己資本	120

(ご参考)前中期経営計画期間中の業績結果

(億円)

連 結	(22/3 期)	25/3 期目標	23/3 期	24/3 期	25/3 期
受注高	1,077.5	1,150.0	993.2	1,012.0	1,129.7
国内	851.9	850.0	674.2	565.3	608.3
海外	225.6	300.0	319.0	446.7	521.4
売上高	1,201.9	1,150.0	1,202.8	1,103.4	1,172.6
国内	995.9	865.0	929.8	728.8	663.8
海外	206.0	285.0	273.0	374.6	508.8
経常利益	27.4	24.0	13.6	2.8	17.6

個 別	(22/3 期)	25/3 期目標	23/3 期	24/3 期	25/3 期
受注高	860.6	870.0	682.9	574.9	617.1
売上高	1,004.2	870.0	935.7	739.1	673.9
経常利益	22.4	17.0	4.7	△8.6	10.8

以 上